

1月5日のメールニュース No.155でもお伝えした通り、昨年末からは木質ペレット燃料のJAS規格制定のため、一般社団法人日本木質ペレット協会の呼びかけのもと、規格化づくりの作業に多くの時間を割いている状況です。先日、1月26日に第3回の委員会が開催され、次回2月9日の第4回委員会において最終案が提示される予定です。参加している委員は交通費の一部充当を除いては手弁当で翻訳や内容チェックを担当しており、日本の統一規格を作るのだという熱意だけがこの委員会を動かしているのだと感じております。

また、これもメールニュースに書きましたが、昨年末に省エネ基準に対応した形でのペレットストーブ認証を行うため、ストーブ工場の査察を行い1月20日に審査委員会を開催しました。その内容は2月16日の部会にて公表する予定です。また、燃料の認証についても、3月末に工場査察を行い、審査委員会に諮る予定です。大変忙しい年度末ですが、熱利用のための木質ペレット発展の素地がようやく整ってきたように感じております。もう一息、最後の踏ん張りが必要です。



ストーブ工場の査察



第3回木質ペレット JAS 化検討委員会

1. 木質バイオマス関連情報

■政府・与党、2024年度に創設する市町村の森林整備の財源に充てる新税「森林環境税」について、都道府県にも平年度ベースで税収の1割に当たる年62億円程度を配分する方針。森林環境税は、一人あたり1000円/人を個人住民税に上乗せする形で徴収し、年620億円程度の税収を見込む。市町村単独では難しい森林整備の担い手育成など、都道府県にも一定の財源が必要になるとの判断で、12月14日にまとめる2018年度与党税制改正大綱に盛り込む。森林文化協会の発行する月刊『グリーン・パワー』1月号では、環境ジャーナリストの竹内敬二氏が、森林環境税の新設で地主不在、境界の不明確化、木材の金銭的価値の低さといった長年の問題が解決されるのか、「税金」とすることで既に森林環境税のある自治体での重複や、課

税そのものが森林の健全化を進めるわけではないことから使い方が肝心となる等の問題点を指摘【時事ドットコムニュース:2017/12/11、HUFFPOST:2018/01/05】

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2017121101161&g=eco>
http://www.huffingtonpost.jp/shinrinbunka/forest-environment-tax_a_23323255/

■佐賀県佐賀市、清掃工場の排ガスからCO₂を回収し、売却している事業で8月頃から売却量が激減していることを明らかに。売却先の藻類培養企業が2017年10月から2018年1月までの予定で施設改修をしているため、2018年2月以降は正常化する見通し。装置のデータ収集のため分離回収は続けており、

CO₂を 5t/日回収し、供給できなかった分は空気中に放出し続けていることも報告。同バイオマス事業で佐賀市は分離回収装置を 14 億 5 千万円（うち国補助 5 億円）で整備。昨年度の売却実績が見込みの 3%（24 万円）にとどまり、収支計画を見直す考え【佐賀新聞 LIVE：2017/12/12】

<http://www.saga-s.co.jp/articles/-/158702>

■建設機械レンタル大手の（株）アクティオ（東京）、バイオマス発電等で木材の需要が出てきていることから、林業を重点分野に位置づけ。同社は晃洋設計測量（株）（栃木）や弦間林業（有）（山梨）と連携し、スマホやタブレット端末から作業時間や林業機械の稼働時間の情報を日報に入力して送信できる新システム「フォレストモバイル」を商用化。2017 年 12 月から提供を開始。林業専用のレンタル機も相次いで投入し、林業の業務の効率化や需要の取り込みに向けて先手を打つ【日刊工業新聞：2017/12/12】

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00453900>

■山梨市の桃やブドウの伐採樹木を無償提供する取り組みが、薪ストーブ利用者らに人気。廃材の野焼き処分軽減などが目的で 2014 年度から続けており、今冬も 11 月～2 月に軽トラック約 100 台分に当たる約 30t の薪を調達する。伐採樹木を提供している果樹農家によると、「伐採材は 15～20 年で寿命を迎える古木に加え、売れ筋のシャインマスカットへの転換で伐採された巨峰も多い」とのこと。当初は引き取りを市民に限っていたが評判が広がり、2 年前から市外の人にも提供している。11 月に引き取りに来た 15 人のうち 9 人が市外の人で、初めて山梨市民を上回った。市担当者は「伐採樹木で同じ悩みを抱える自治体にこの仕組みが広がってほしい」と話している【産経ニュース：2017/12/12】

<http://www.sankei.com/region/news/171212/rgn1712120029-n1.html>

■環境省、2016 年度の温室効果ガス排出量が、CO₂換算で前年度比 0.2%減の 13 億 2,200 万 t（速報値）だったと発表。1990 年の調査開始以来初めて 3 年連続の減少。2005 年度と比べると 4.6%減で、日本が掲げる「20 年度迄に 05 年度比 3.8%減」との目標を上回った。再エネの導入拡大等により、エネルギー起源 CO₂排出量が減少したことなどが要因としている。目標自体が低すぎるとの批判も根強く、環境団体などから引き上げを求める声が高まることも予想される【環境省、宮崎日日新聞：

2017/12/12】

<http://www.env.go.jp/press/104900.html>

<http://www.the-miyazaki.co.jp/news/Science/2017121201001410.php>

■新潟県の関川村でバイオマス発電導入の牽引役だった平田大六村長が今季限りで引退。代わって加藤弘氏が無投票当選し、12 月 24 日に就任。オンサイト・レポートの調べによると、「同村のバイオマス発電事業は流動的。当初は発電出力未定、システムは木質バイオマス熱分解ガス化 CHP で検討から始まり、出力は 3,200kW ともされた。その後 2,000 kW 未満にダウンし、採用システムはスターリングエンジンに変更され、さらにまた出力は 6,500kW に上がり、直近の FIT 認定では 7,500kW に『増強』された」とのこと。加藤新村長はバイオマス発電の導入に関して検証が必要と発言しているらしく、事業は今後も二転三転する可能性も【OSR No.304:2017/12/13、No.305:2017/12/20、広報せきがわ：2018/1 月号】

<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/file/info/koho/201801/honsai4-5.pdf>

■「まちエネ大学」が、同大学卒業生を中心に地域に根差した再エネ事業をけん引する 6 人の「再エネローカルリーダー」の事業化への思いと成功への道筋を紐解きながら、地域再エネ事業を成功させるためのポイントを紹介した小冊子「Green Power People～再生可能エネルギーで地域をけん引する挑戦者たち～」を作成。「まちエネ大学」は太陽光、風力、地熱、バイオマスといった環境への負荷の少ない再生可能エネルギーを使って、環境に配慮したビジネスや持続可能な地域づくりを行う人材を育てるサステナブル・ローカル・ビジネススクールで、2013 年度より経産省資源エネルギー庁主催で開始。4 年間で全国 23 の地域別スクールを開講した。これまでに全国で約 700 人が受講し、事業計画作成の中心的役割を担った事業構想リーダー約 100 名を輩出。小冊子に加えて、これまでのまちエネ大学で受講生向けに制作した映像教材を掲載したウェブサイト「Green Power People 地域事例から学ぶ再生可能エネルギー」も公開中【Yahoo!Japan ニュース：2017/12/14、まちエネ大学】

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kimuramaki/20171214-00079282/&ct=ga>

<http://localenergy.biz/book>

■東京都目黒区、友好都市である宮城県気仙沼市の復興支援と再生可能エネルギーの活用促進に資することを目的とし、宮城県気仙沼市のバイオマス発電電力購入を 2018 年 4 月に始めると発表。間伐材を活用したバイオマス発電を手掛ける気仙沼地域エネルギー開発（株）（宮城）の電力を調達し、電力小売りを手掛けるみやまスマートエネルギー（株）（福岡）を通じて購入する。調達した FIT 電力は気仙沼市と縁のある施設でさんま祭の会場にもなっている「田道ふれあい館」や小中学校、保育所など区有 33 施設で利用。電気代は年間 50 万円の削減につながる見通し【東京都目黒区：2017/12/14、日本経済新聞：2017/12/15】

http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/koho/hodo_news/2017/1214.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ024648170U7A211C1L83000/?ct=ga>

■デンマークの製薬会社 Novo Nordisk 社の日本法人であるノボノルディスク ファーマ（株）（東京）、国内唯一の工場である郡山工場（福島県郡山市）で、使用する全てのエネルギーを 2018 年から CO₂ 排出ゼロのエネルギーに転換すると発表。郡山工場では 2011 年に、継続的な省エネルギー活動で 2005 年のピーク時に比べ CO₂ 排出量を 43%削減。東日本大震災に伴う原発停止により火力発電へシフトし、2012 年に排出量が増加したが、2013 年からバイオマス発電と風力発電による 2 種類のグリーン電力証書の購入を進め、2016 年には電力消費による CO₂ 排出量ゼロを達成。今回、残っていたガスを含むすべての利用エネルギーを転換すべく、12 月 13 日付で日本自然エネルギー（東京）と 1 万 4,800GJ 分のグリーン熱証書を購入する契約を締結。これは郡山工場 1 年間に使用される電気とガスを熱換算した値に相当。使用するグリーン熱は、北海道網走郡津別町のバイオマスエネルギーセンターと岐阜県加茂郡川辺町のバイオマス熱電供給設備などから供給する【ノボ ノルディスク ファーマ（株）：2017/12/14】

http://www.novonordisk.co.jp/content/Japan/AFFILIATE/www-novonordisk-co-jp/Extweb/news/2017/12/14/17_43.pdf

■東芝エネルギーシステムズ（株）（神奈川）、火力発電所から排出される CO₂ を分離、回収する大規模な実証設備の起工式を 12 月 15 日に開催。同設備はグループ会社である（株）シグマパワー有明の三川発電所（福岡県大牟田市・出力 5 万 kW）から 1 日に排出される量の 50%にあたる 500t 以上の CO₂ を分

離・回収するもの。三川発電所は現在 PKS を主燃料としたバイオマス発電を行っており、バイオマス発電所が排出する CO₂ を分離、回収する世界初の大規模設備となる予定。環境省「環境配慮型 CCS 実証事業」としてみずほ情報総研（株）をはじめとする 13 法人で採択された事業の一環として建設するもので、CO₂ 分離・回収実証設備の設計と建設を東芝エネルギーシステムズが担当。建設工事を 2018 年 2 月に開始し、CO₂ 分離、回収設備の機器の納入、据付、試運転を経て 2020 年の夏に実証運転開始予定【東芝エネルギーシステムズ（株）：2017/12/15】

https://www.toshiba-energy.com/info/info2017_1215.htm

■北海道曹達（株）（北海道）、苫小牧事業所内工場生産ラインに蒸気を供給するため、木材を主燃料とするバイオマスボイラを設置。12 月中にも稼働する予定。同事業は平成 28 年度再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金を得て実施【日刊工業新聞：2017/12/19、（一社）環境共創イニシアチブ：2016/10/04】

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00454831>

https://sii.or.jp/re_energy28/file/koufuketteianken04.pdf

■Community Power Corporation 社（アメリカ）製小規模ガス化バイオマス熱電併給システム「BioMax®Gen2」日本総代理店のシンテックジャパン（株）（東京）、三重県松阪市に 1 号機を設置したトライジェンパワー松阪発電所の見学会を開催中。1 号機は昨年 11 月より試運転を開始。平均出力 155kW（発電端）、年間発電量 110 万 kWh（約 310 世帯分相当）、燃料は木質チップを約 1,500t/年使用。発電した電力は FIT を通じて中部電力（株）（愛知）に売電する。見学会は 1 月 15 日～30 日の各日、11 時と 14 時の二回開催するとしていたが、好評につき 2 月 14 日まで延長するとのこと。見学希望者は、事前にシンテックジャパン宛メールで申込が必要【OSR No.305：2017/12/20、シンテックジャパン（株）】

<http://syntechjapan.com/>

■岡山県新見市、2017 年 11 月 22 日から 12 月 8 日まで公募していた「新見市循環型社会創生プロジェクト温浴施設バイオマスボイラー導入計画作成業務」の事業者を 12 月 20 日、（株）EECL（山口県下関市）に特定。工期は 2018 年 2 月 15 日迄【建通新聞：2017/12/25】

http://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/171224600009.html

■フォレストエナジー（株）（東京）、和歌山県新宮市で木質バイオマス発電事業を計画。プラントでは、2017年7月に同社が提携した Syncraft Engineering GmbH（オーストリア）のガス化熱電併給設備を4基使用。年間約2万tの未利用木質バイオマス資源を主に紀南地域から集材後、ウッドチップに加工して燃料として使用し、約1,800kWの電気（約3,900世帯分）及び約2,800kWの熱を供給する。熱を乾燥機の熱源として再利用することで乾燥コストを抑制することができるうえ、伐採したの木材を燃料として使うことができる。Syncraftの設備は幹だけでなく枝と樹皮も燃料として余すことなく使用できるのが特徴。

同事業のために新たに設立した新宮フォレストエナジー合同会社が事業体となり、2018年春に着工、2019年夏の商業運転開始を目指す【フォレストエナジー（株）：2017/12/26】

<https://app.box.com/v/FEShingu>

■（株）矢野経済研究所（東京）、2017年の国内のバイオマスエネルギー市場（エネルギー供給量および設備導入量）の調査を実施し、取りまとめた「バイオマスエネルギー市場の現状と将来展望 2017」を発行。2017年4月～11月の間、バイオマス原燃料供給事業者、バイオ燃料供給事業者、バイオマス発電事業者、バイオマス設備システムメーカー等に直接面談、電話、e-mailによるヒアリング、ならびに文献調査を行った。調査結果サマリーによると、バイオマスエネルギー市場規模（エネルギー供給量）はバイオマス発電、バイオマス発電の熱電併給形態の導入の双方が進むことから、2016年度の2,930億円から2030年度には9,864億円に拡大と予測。バイオマスエネルギー設備市場規模（設備導入量）は2018年度に3,308億円まで増加するものの、その後はFITでのバイオマス発電設備導入が飽和し、本来の市場規模の水準に落ち着くものとみられることから、2020年度には2,343億円、2030年度には1,159億円になると予測。資料の購入方法は同社サイトを参照【（株）矢野経済研究所：2017/12/26】

<https://www.yano.co.jp/press/press.php/001781>

■カット野菜大手の大和川食産（大阪）が、2018年1月からごぼうやニンジンなどの野菜かすを使うバイオマス発電を開始。本社近くに約9億円を投じて発電施設をあわせた新工場を設置。廃棄物処理費を抑えるとともに余った電気を電力会社に販売する【日本経済新聞：2017/12/27】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ025103240W7A221C1>

[LKA000/?ct=ga](https://www.nikkei.com/article/DGXMZ025103240W7A221C1)

■経産省、2017年12月27日に調達価格等算定委員会（第34回）を開催。FITでのバイオマス発電で2018年度から一般木材等バイオマス枠の木質チップや油脂などの燃料で発電する施設について入札を開始するため、その詳細設計についての議論を開始。同日に有識者会議も開催。初年度は200MW分を入札にかける。木質チップを燃料とする発電所は出力1万kW以上、パーム油や大豆油等油脂燃料は全ての発電施設を対象とする方向で調整。設備の稼働後に出力を大幅に下げた場合には認定を取り消す仕組みも導入する方針。2017年度内に最終決定する方向。第1回目となるバイオマスの入札時期は、事業計画受付締切が2018年7月20日の予定。その後11月22日に入札募集が開始され、12月7日に締切。入札結果は12月18日に公表予定【日本経済新聞、経産省：2017/12/27、新電力ネット：2018/01/05】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ025154340X21C17A2E8000/?ct=ga>

http://www.meti.go.jp/committee/chotatsu_kakaku/034_haifu.html

<https://pps-net.org/column/47857>

■東洋エンジニアリング（株）（千葉）と新日鉄住金エンジニアリング（株）（東京）、包括連携契約を締結。国内のバイオマス発電所の設計、建設分野での連携を検討する。両社はともにEPC（設計・調達・建設）事業が主力だが、東洋エンジは海外での売り上げが8割を占め、新日鉄住金エンジは国内の製鉄や環境プラントが中心。国内で需要が高まっているバイオマス発電所建設の具体案件で協議していたところ包括連携が持ち上がった。今後、両社メンバーからなる「連携推進委員会」を設置し、具体的な協業案件の発掘を進めていく。契約期間は2017年12月27日より3年間とし、両社合意により延長する【日本経済新聞、東洋エンジニアリング（株）：2017/12/27】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ025146770X21C17A2X93000/?ct=ga>

<http://www.toyo-eng.com/jp/ja/company/news/?n=625>

■愛知県豊橋市、家庭ごみの収集日を4月から一部見直すと発表。バイオマス発電に向け、市は昨年4月から生ごみの分別収集を開始。ごみ収集の手間が増えた影響で週1回だったプラマークごみの収集が隔週水曜日に減り、市民から「家にごみが溜

まる」など不満の声が市に多数寄せられるように。隔週になったプラマークごみの収集日を毎週に戻すなど、市民の要望を踏まえたゴミ収集体制の構築を図る【東日新聞：2018/01/05】

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=65235>

■豊田通商（株）（愛知）グループの（株）エネ・ビジョン（同）により設立された合同会社えひめ森林発電（愛媛）が建設した「松山バイオマス発電所」が1月4日に営業運転開始。愛媛県内の未利用材からの木質チップと PKS を燃料とする愛媛県初の木質バイオマス発電所。出力は 12.5MW、年間予定電力量は約 87,000MWh（一般家庭約 2 万 4 千世帯分の年間消費電力量に相当）で、FIT を通じ小売電気事業者に売電している【豊田通商（株）：2018/01/05、2017/11/06】

http://www.toyota-tsusho.com/press/detail/180105_004091.html

http://www.toyota-tsusho.com/press/detail/171106_004049.html

■ドイツ、クリスマスツリーを燃料にリサイクル。クリスマスの終わりを告げる「公現祭」の日（1月6日）を過ぎると、ドイツではクリスマスツリーの廃棄回収が始まる。ベルリンでは、ベルリン清掃局（BSR）が各地区に定めた回収日の前日の夜～当日の朝6時までにオーナメントを全て取り去ったツリーを自宅前の道端に置いておき、回収してもらう。回収されたツリーは、専門業者により特別なシュレッダーにかけられて燃料に加工され、バイオマス発電所に運ばれる。BSR では毎年 50 回に渡る回収作業が行われ、約 35 万本のツリーを回収。この回収作業にかかるコストは 100 万ユーロ（約 1 億 3600 万円）。これを用いてバイオマス発電所では、500 世帯が 1 年間消費できる熱と電気を生産する【NEWS SALT：2018/01/08】

<https://www.newssalt.com/23014>

■京都府立大学（京都）、薪ストーブや薪に関する情報を集めたウェブサイト「まきくも」を開設。同大学の ACTR『ICT を活用した薪の地産地消型流通ネットワーク構築による経済効果と CO₂ 削減など環境面における評価の研究』の一環として、薪

のくらし推進協議会のウェブ上に製作。「薪の電話帳を目指している」と書かれている通り、京都府内の取扱業者の検索が可能。薪ストーブの設置法や府内市町の補助制度なども掲載。薪割り体験、薪作り教室、竹細工など様々なイベントも開催している【京都新聞：2018/01/08、まきくも】

<http://www.kyoto-np.co.jp/education/article/20180108000108>

<http://maki-kurashi.skr.jp/makikumo/about/>

■政府、2017 年 12 月 22 日に今年度（2017 年度）補正予算案と来年度（2018 年度）当初予算案を閣議決定。林野庁関係の平成 29 年度補正追加額は 862 億円、平成 30 年度当初予算の概算決定額は 2,997 億円

【J-FIC ニュース：2018/01/09、林野庁：2017/12 月】

<http://www.j-fic.com/news/page/3>

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/30kettei.html>

■ネクストエナジー・アンド・リソース（株）（長野）、アウトドア製品を販売する「THE NORTH FACE（ザ・ノース・フェイス）STANDARD 二子玉川」（東京都世田谷区）に対し、2017 年 12 月 16 日よりバイオマス発電のグリーン電力証書付き電力供給を開始。ネクストエナジーでは、グリーン電力証書を活用した「100%再生可能エネルギー」の電力プラン「GREENa RE100 プラン」を提供。これまでにザ・ノース・フェイス直営店の 3 店舗に同プランによる電力供給を行っており、今回が 4 店舗目。ザ・ノース・フェイス直営店への電力供給では、兵庫パルプ工業（株）（兵庫）のバイオマス発電所「兵庫パルプ工業谷川工場発電所（出力：18.9MW）」のグリーン電力証書を購入。GREENa RE100 プランは、全国 12 カ所の再生可能エネルギー発電所が発電したグリーン電力を供給している。東京電力・中部電力・関西電力の管轄内で利用可能【日経テクノロジー online：2018/01/09】

<http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/news/16/010910372/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイトレポート」の略

2. ペレット関連情報

■ソフトバンク子会社の SB エナジー（株）（東京）、和歌山県御坊市塩屋町南塩屋の日高港工業団地で検討しているバイオ

マス発電所計画について、12 月 7 日に開催された御坊市議会日高港振興対策特別委員会で執行部が進捗状況を説明。市企画

課が9月にSB エナジーが南塩屋区民や地元漁協組合員を対象に開いた説明会の内容を報告。当初予定では燃料をパーム油にしていたが、将来的に安定供給が難しいことから国内でも実績のある木質ペレットとPKSに変更。燃料が変わったことから発電規模も当初の約11万kWから約5万kWに。自主アセスメントの結果としては環境基準をクリアできると予測されていると説明【日高新報：2017/12/10】

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2017/12/post-7697.html>

■オーストリアのAndritz AG、三井造船からの注文を受け、千葉県市原市に建設予定のバイオマス発電所に同社製CFBボイラ導入を発表。発電所は伊藤忠商事(株)(東京)、大阪ガス(株)(大阪)、三井造船(株)(東京)の共同出資により設立された合弁会社「市原バイオマス発電(千葉)」が、三井造船千葉事業所内の敷地に建設予定で出力約50MW。燃料は全量PKSと木質ペレットで賄う。日本政策投資銀行が千葉銀行と共同でプロジェクトファイナンスを組成し、融資することが決まっている。2018年5月に建設工事着工、2020年10月商業運転開始予定【環境ビジネスオンライン：2017/12/11、Bioenergy International No.7:2017/12月】

<https://www.kankyo-business.jp/news/016292.php>

■(株)ソルガム・ジャパン・ホールディングス(東京)、中国最大インターネットポータルメディアである「新浪(Sina)」と7億人以上が利用する中国圏最大のSNS「微博(Weibo)」の日本における広告・PRの独占販売権を有する新浪日本総合ネットワークグループ(株)(東京)との間で業務提携契約締結を決議。スーパーソルガムを原料としたバイオマス製品(発電用ペレット、及び家畜飼料等)の中国における広告・宣伝、販売並びに同製品に関する中国企業との提携支援に関する業務を共同で行っていく。日本と中国を繋ぐインターネットメディアを活用し、中国市場での販路開拓を目指す【(株)ソルガム・ジャパン・ホールディングス：2017/12/18】

<http://sorghum-jp.com/investor/1769/>

■『通販生活』を発行する(株)カタログハウス(東京)、同社ソーラー事業部にて、業界初となる全国エリア(一部地域を除く)でのペレット購入および配送システムを構築したと発表。ペレットストーブを持つ消費者のネックとなっていたのがペレット購入時の送料だったが、『通販生活』で培った物流ネットワークを活かし、大手運送会社との提携による全国一律送料(100円/袋)を実現。同社のペレットは委託工場も含め全て国産の

間伐材、林地残材等を使用。青森県、山形県、茨城県、新潟県、長野県、静岡県、岐阜県、京都府、兵庫県、愛媛県、山口県の計11カ所のペレット工場から配送される。商品は、10kg入りペレット2袋をリサイクル紙袋に入れ、10個口(20袋分)にしたもので代金は12,960円(税込)、送料が2,000円(税込)。同社サイトより注文可能【@Press：2017/12/18】

<https://www.atpress.ne.jp/news/145374>

■住友重機械工業(株)(東京)、広島ガス(株)(広島)と中国電力(株)(広島)が設立した発電事業会社、海田バイオマスパワー(株)(広島)より、同社海田発電所の発電設備を受注。木質ペレットや県内の未利用間伐材等バイオマス燃料が主燃料で、再熱方式を採用した非常に高効率なバイオマス高混焼発電設備。出力は112MW。同社の循環流動層(CFB)ボイラを用いたバイオマス高混焼発電設備としては国内最大級。建設予定地は広島県安芸郡海田町は2021年3月運開予定【住友重機械工業(株)：2017/12/22】

<http://www.shi.co.jp/info/2017/6kgpsq0000003c89.html>

■北海道電力(株)(北海道)、三井物産(株)(東京)が発電所運営のために2017年4月に設立した特別目的会社(SPC)北海道バイオマスエネルギー(株)(北海道下川町)に出資(2割)し、木質バイオマス発電事業参入へ。三井物産は当初、下川町と共同で熱電併給発電所の建設を目指していたが、7月に町議会が関連予算案を否決。町は事業から撤退したが、電源の多様化を進めていた北電が参入を決定。ペレットをガス化し、燃焼する方式の発電所(出力1,815kW)で、下川町西町の予定地2haに小型熱電併給プラント11基とホワイトペレットの製造工場を建設する。ペレットの原料は三井物産の道内私有林や地元林業者から調達する。発電した電気はFITを通じて全量を北電が買い取る。熱電併給が可能だが、まずは熱供給を行わずに発電事業のみでスタートし、将来的には農家などに熱供給を始めるため、北電が町との交渉・調整役を担う。総事業費約26億円、発電所建設に2018年5月着工、2019年4月から商業運転開始予定【日本経済新聞、北海道電力(株)：2017/12/22、北海道新聞：2017/12/23】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ024984680S7A221C1L41000/?ct=ga>

http://www.hepco.co.jp/info/2017/1217321_1723.html

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/153043>

■林野庁、平成 28 年に木質バイオマスエネルギー利用している発電機及びボイラを有する全国の事業所を対象に実施した「平成 28 年木質バイオマスエネルギー利用動向調査」の結果(確報)をプレスリリース。2017 年 9 月 6 日に本調査の速報としてエネルギー利用された木材チップの量を公表したが、今回それ以外の調査結果の取りまとめを実施し、確報としたもの。平成 28 年にエネルギー利用された木質バイオマス(前年比)は、薪 5 万 t(2.6%減)、木粉(おが粉) 32 万 t(12.0 減)、木材チップ 773 万 t(12.0%増)、木質ペレット 21 万 t(34.1%増)。FIT 認定を受けたバイオマス発電施設等が複数稼働した影響や、ボイラの用途の変化についての考察もなされており、様々なデータが公開されている【林野庁:2017/12/25】
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/171225.html>

■中部電力(株)(愛知)、2017 年 12 月 26 日に渥美火力発電所(愛知県田原市)1 号機および四日市火力発電所(三重県四日市市)1 号機、2 号機を廃止したと発表。渥美火力発電所 1 号機(50 万 kW)は汽力発電方式で燃料は重油・原油。四日市火力発電所 1・2 号機(各 22 万 kW)は汽力発電方式で燃料が液化天然ガス。同社は四日市火力発電所で木質バイオマス専焼バイオマス発電設備の開発を計画。木質ペレット(約 15 万 t/年)および PKS(約 7 万 t/年)を燃料とする出力 49,000kW の設備で、想定年間発電電力量は約 3.8 億 kWh(一般家庭 約 12 万世帯相当)。約 16 万 t/年の CO₂削減効果を想定。本工事開始予

定は 2018 年 5 月、2020 年 4 月から運転開始予定【中部電力:2017/12/26】

https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/pres/s/3266644_21432.html

■静岡県小山町、2017 年 12 月に「小山町湯船原地区木質バイオマス発電所(仮称)」整備工事安全祈願祭を実施。小山町は湯船原地区での「再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業」を進めており、その「林業エリア」の一面に木質ペレットガス化熱電併給(CHP)装置を設置する。装置は、三洋貿易(株)が総代理店を務めるブルクハルト社(ドイツ)の熱電併給ユニットで発電能力は 165kW、熱供給能力は 270kW。近隣山地からの原木・間伐材を静東原木流通センターの 3D 選別機で自動仕分けし、製材所に運んで製材。発生した製材端材・おが粉等をペレット工場にペレットにし、CHP などの燃料として供給する計画。FIT による売電事業をベースに排熱を有効活用する売熱事業併給モデルを展開する。CHP は平成 30 年度発電開始予定【小山町:2017/12/27、2017/6 月】

http://www.fuji-oyama.jp/info_message_katsudokiroku_GumBwNLz.html?vt=sp

http://www.fuji-oyama.jp/sangyoumachi_naifro.html

3. イベント情報(国内)

◎: 木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◆東京都「WOOD コレクション(モクコレ)2018」(第 42 回 全国育樹祭記念行事)

月日 2018 年 1 月 30 日(火)~31 日(水)

場所 東京ビッグサイト(東 7・8 ホール)(東京都江東区)

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/11/09/14.html>

◆岩手県、他 平成 29 年度「いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム」

月日 2018 年 1 月 31 日(水)

場所 プラザおでって 3 階おでってホール(岩手県盛岡市)

<http://www.pref.iwate.jp/ringyou/mokuzai/biomass/040015.html>

◆NPO 法人農都会議 バイオマス WG/農都交流・地域支援 G1 月勉強会「森林環境税と新たな森林管理システム—国産材の利用拡大に向けて、地域の事例を学び、制度について考える—」

月日 2018 年 1 月 31 日(水)

場所 港区神明いきいきプラザ 4 階集会室 A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/182>

◆NEDO「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業 ワークショップ in 岡山『持続可能なバイオマスエネルギー事業の実現に向けて』」

月日 2018年2月2日(金)
場所 TKP 岡山会議室ホール 2A (岡山県岡山市)
http://www.nedo.go.jp/events/FF_100101.html

◆(一社)全国森の循環推進協議会「森と水の祭り」～水が繋ぐ地域と世代～

月日 2018年2月4日(日)
場所 横浜港大さん橋ホール (神奈川県横浜市)
<http://yokohama-model.com/>

◆Green People's Power 設立1周年記念～社会的企業を目指す新電力の奮闘と展望～

月日 2018年2月2日(金)
場所 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)セミナーーム(東京都渋谷区)
<https://www.greenpeople.co.jp/>

◆(一社)日本有機資源協会「平成20年度バイオマス産業都市推進シンポジウム」

月日 2018年2月6日(火)
場所 三井住友銀行本店ビル3F大ホール(東京都千代田区)
http://jora.smallworld.co.jp/press/jora_pdf_files/201801112137.pdf

◆NPO法人エコネット近畿「第37回 エコネット・カフェ 里山・コミュニティ事業をさがそう～環境・防災・教育の領域で～」

月日 2018年2月6日(火)
場所 エコネット近畿事務局(大阪府大阪市北区)
<http://kokucheese.com/event/index/500593/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 REDD 研究開発センター「REDD プラス展開の鍵は何か?—現場活動から見えてきた、REDD プラスの実践手法—」

月日 2018年2月7日(水)
場所 東京国際交流館 国際交流会議場(東京都江東区)
http://redd.ffpri.affrc.go.jp/events/seminars/2018/20180207_ja.html

◆ウータン 森と生活を考える会「つながってる!インドネシア NGO が語る熱帯泥炭地と私たちの暮らし」

月日 2018年2月7日(水)
場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)
<http://hutangroup.org/>

◆経産省近畿経済産業局 平成29年度「バイオマスセミナーin和歌山～農林系バイオマスの地産地消と地域特性による循環モデル～」

月日 2018年2月8日(木)
場所 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階ホールB(和歌山県和歌山市)
<http://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/bio-mass/1802/info.html>

◆国際環境 NGO FoE Japan シンポジウム「企業の再エネ選択と電力会社」

月日 2018年2月8日(木)
場所 東京ウイメンズプラザ・ホール(東京都渋谷区)
http://power-shift.org/180208_symposium/

◆NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク第172回研究会「バイオマス利用の地域経済効果を決める条件とは(仮題)」

月日 2018年2月9日(金)
場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)
<http://www.npobin.net/apply/>

◆林野庁「平成29年度林業機械化推進シンポジウム」

月日 2018年2月9日(金)
場所 国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール(東京都渋谷区)
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/180109.html>

◆国際青年環境 NGO A SEED JAPAN「このデンキがヤバイフォーラム2018」

月日 2018年2月10日(土)
場所 AP 秋葉原 O+P ルーム(東京都台東区)
<https://ameblo.jp/suzumenomiraichi/entry-12345443209.html>

◆(特非) A SEED JAPAN「検証!原発のゴミ最終処分地選定の前にすべきこと～動員されない若者が考える『現世代の責任』～」

月日 2018年2月11日(日)

場所 SHIBAURA HOUSE 5F (東京都港区)

<https://asjkakugomi.amebaownd.com/posts/3474105>

◆京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座「2017年度第3回 再生可能エネルギー経済学講座 シンポジウム」

月日 2018年2月13日(火)

場所 京都大学国際科学イノベーション棟5F シンポジウムホール(京都府京都市左京区)

http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/event/sympo2017-3

◆(一財)省エネルギーセンター「ENEX2018 第42回地球環境とエネルギーの調和展(Energy and Environment Exhibition)」

月日 2018年2月14日(水)~16日(金)

場所 東京ビッグサイト東1・2ホール(東京都江東区)

<http://expotoday.com/event/12386/>

◆(一財)省エネルギーセンター「Smart Energy Japan 2018」

月日 2018年2月14日(水)~16日(金)

場所 東京ビッグサイト東1・2ホール(東京都江東区)

<http://www.low-cf.jp/east/>

◆(一財)省エネルギーセンター、等「電力・ガス新ビジネス EXPO 2018」

月日 2018年2月14日(水)~16日(金)

場所 東京ビッグサイト東1・2ホール(東京都江東区)

<http://expotoday.com/event/12388/>

◆低炭素杯事務局(〔一社〕地球温暖化防止全国ネット)「第8回低炭素杯2018」

月日 2018年2月15日(木)

場所 日経ホール(東京都千代田区)

<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/entry.php>

◆宮城県 みやぎグリーン購入セミナー「持続可能な地域づくりとグリーン購入」

月日 2018年2月15日(木)

場所 富士ゼロックス宮城株式会社大会議室(宮城県仙台市)

http://www.miyagigpn.net/pdf/seminar_h300215.pdf

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度(後期)森林講座「ドイツの人々の森の楽しみ方」

月日 2018年2月16日(金)

場所 多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター「林木育種事業60周年記念シンポジウム」

月日 2018年2月16日(金)

場所 木材会館7階ホール(東京都江東区)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/research/news/2017/60sinpojumu.html>

◆(特非)森のライフスタイル研究所「3.11復活の森づくり 3,000本の植林で海岸防災林の再生ツアー おたのしみは、恒例のいちご狩り」

月日 2018年2月17日(土)

場所 蓮沼殿下海岸林(千葉県山武市)

<http://moridukuri.or.jp/event/2018act02hasunuma/>

◆富士山環境展実行委員会「富士山環境展5」

月日 2018年2月17日(土)~3月4日(日)

場所 富士山環境交流プラザ(静岡県富士宮市)

<http://www.city.fujinomiya.lg.jp/citizen/visuf80000004s6t.html>

◆(株)森林環境リアライズ「林地未利用材集荷システム実証事業に伴う現地検討会(道南地区)」

月日 2018年2月19日(月)

場所 実証事業報告・講演会:北斗市公民館、現地検討会:北斗市向野(北海道北斗市)

<http://www.f-realize.co.jp/information/index.cgi?no=57>

◆NPO法人農都会議 バイオマスWG/地域G 2月勉強会「林業技術の革新 第3回~国産材・間伐材の供給拡大に向けて、増大する発電需要にどう対応するか? ここ数年で何が変わったか?~」

月日 2018年2月19日(月)

場所 港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/184>

◆環境省「平成 29 年度廃棄物エネルギーの地域での利活用促進に関する説明会」

月日 2018 年 2 月 19 日（月）

場所（関西会場）生駒市コミュニティセンター文化ホール（奈良県生駒市）

<http://www.env.go.jp/press/104989.html>

◆環境省、廃棄物資源循環学会「平成 29 年度中小廃棄物処理施設における廃棄物エネルギー回収方策等に係る説明会」

月日 2018 年 2 月 20 日（火）

場所 川崎市産業振興会館大ホール（神奈川県川崎市）

<http://www.env.go.jp/press/104912.html>

◆信州大学繊維学部/一般社団法人 NECO（自然エネルギー共同設置推進機構）「上田地域木質バイオマス講演会～チップボイラーによる熱供給～佐久総合病院での取り組みに学ぶ」

月日 2018 年 2 月 21 日（水）

場所 信州大学繊維学部講義棟 11 番教室

<https://www.neco.or.jp/archives/759.html>

◆適正技術フォーラム「第 1 回適正技術フォーラム セミナー & グループディスカッション

『分散型エネルギー供給と適正技術』

月日 2018 年 2 月 24 日（土）

場所 JICA 東京国際センター（幡ヶ谷）セミナールーム 403（東京都渋谷区）

<https://atfj.jp/20180106forum/>

◆認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会、東京おもちゃ美術館「第 5 回木育サミット in 秩父」

月日 2018 年 2 月 24 日（土）

場所 秩父宮記念市民会館大ホールフォレスト・ケヤキフォーラム他（埼玉県秩父市）

<http://goodtoy.org/ms/>

◆国際環境 NGO FoE Japan シンポジウム 気候変動「難民」～大規模災害などにより住む場所を追われる人々

月日 2018 年 2 月 26 日（月）

場所 NATULUCK 飯田橋東口 4 階大会議室 A（東京都千代田区）

<http://www.foejapan.org/climate/lad/180226.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所成果報告会「『木の良さ』を科学する－木材がひとの触・視・嗅に及ぼす影響－」

月日 2017 年 2 月 27 日（火）

場所 東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2017/20180227koupuoro/index.html>

◆リードエグジビションジャパン（株）「スマートエネルギー Week 2018」

月日 月日 2018 年 2 月 28 日（水）～3 月 2 日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://www.wsew.jp/>

◆リードエグジビションジャパン（株）「スマートエネルギー Week 2018 内『第 3 回国際バイオマス発電展』」

月日 2018 年 2 月 28 日（水）～3 月 2 日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://www.bm-expo.jp/>

◆（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会「林野庁 事業成果報告セミナー」バイオマス発電展・専門技術セミナー

月日 2018 年 2 月 28 日（水）～3 月 2 日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://reed-speaker.jp/Conference/SE/2018/top/?id=BM&gid=12&lang=jp>

◆東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部シンポジウム「気持ちよく納められる森林環境税とは？」

月日 2018 年 3 月 1 日（木）

場所 弥生講堂一条ホール（東京大学農学部内）（東京都文京区）

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/event/sympo20180301.html>

◆（一財）地域活性化センター「平成 29 年度地方創生フォーラム in 東京『木づかいでつなぐ都市と農山村』」

月日 2018 年 3 月 1 日（木）

場所 ベルサール飯田橋ファースト（東京都文京区）

https://www.jcrd.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=1823:%E5%B9%B3%E6%88%9029%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%9C%B0%E6%96%B9%E5%89%B5%E7%94%9F%E3%83%95%E3%8

<http://www.jwrs.org/wood2018/>
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180303sasasympo/index.html>

◆森林総合研究所、名古屋大学公開シンポジウム「120年ぶりの森の一大イベント ササ-斉開花で森はどうなる？」

月日 2018年3月3日(土)

場所 名古屋大学経済学部カンファレンスホール(愛知県名古屋市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180303sasasympo/index.html>

◆(公財)自然エネルギー財団「国際シンポジウム

REvision2018」

月日 2018年3月7日(水)

場所 イイノホール(東京都千代田区)

http://www.renewable-ei.org/activities/events_20180307.php

◆NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク第173回研究会「西粟倉村の木質バイオマス利用～ローカルベンチャーによるエネルギー自給の取り組み(仮題)～」

月日 2018年3月7日(水)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)

<http://www.npobin.net/apply/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所公開セミナー「これからの森林づくりと林業生産に向けた技術的課題」

月日 2018年3月7日(水)

場所 木材会館7階ホール(東京都江東区)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180307seminar/index.html>

◆(一社)日本木材学会「第68回日本木材学会大会(京都大会)」

月日 2018年3月14日(水)～16日(金)

場所 京都府立大学下鴨キャンパス、国立京都国際会館(両会場共、京都府京都市左京区)

<http://www.jwrs.org/wood2018/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度(後期)森林講座「香るサクラ」

月日 2018年3月17日(土)

場所 多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆環境省「平成29年度廃棄物エネルギーの地域での利活用促進に関する説明会」

月日 2018年3月19日(月)

場所 (関東会場)三鷹産業プラザ703,704,705会議室(東京都三鷹市)

<http://www.env.go.jp/press/104989.html>

◆NPO法人農都会議飯能木質バイオマスエネルギー協議会共同講演会「はなのう塾 第2回、まちエネ大学 飯能スクール報告会—東京の身近な山村、飯能を知り、都市山村交流と森林・バイオマス活用を考える—」

月日 2018年3月19日(月)

場所 港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/noutochiiki/archive/250>

◆新社会システム総合研究所「平成30年度税制改正による省エネ再エネ高度化投資促進税制等～省エネ設備・再生可能エネルギー設備の最新税務～」

月日 2018年3月20日(火)

場所 SSK セミナールーム(東京都港区)

<https://expotoday.com/event/12827/>

◆(一社)日本森林学会「第129回日本森林学会大会」

月日 2018年3月26日(月)～29日(木)

場所 高知市内および高知大学(高知)

<https://www.forestry.jp/meeting/>

◎リード エグジビション ジャパン「第2回関西次世代農業EXPO～植物工場・ITなどの最新技術展～」

月日 2018年5月9日(水)～11日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.agri-next.jp/kansai/>

◎CMT「9th Biomass Pellets Trade & Power 第9回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

月日 2018年5月14日(月)～17日(木)

場所 東京マリオットホテル(東京都品川区)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180501&>

◆日報ビジネス(株)「2018NEW 環境展(N-EXPO 2018)/地球温暖化防止展」

月日 2018年5月22日(火)～25日(金)

場所 東京ビッグサイト 有明 東展示棟(東京都江東区)

https://www.nippo.co.jp/n-expo018/ne18_b.htm

◎バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ2018」

月日 2018年5月30日(水)～6月1日(金)

場所 東京ビッグサイト東ホール(東京都江東区)

<https://www.biomasseexpo.info/expo/%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%A8%E3%82%AD%E3%82%B9%E3%83%9D2018/>

◆森の映像祭実行委員会「森の映像祭」(みどり・森林・山村振興 映像祭)上映会

月日 2018年6月16日(土)

場所 木材・合板博物館(東京都江東区)

<http://morinoeizo.com/archives/13>

◆リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.wsew.jp/>

◎リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018内『第3回 関西バイオマス発電展』」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.bm-kansai.jp/ja/Home/>

◆世界循環経済フォーラム2018

月日 2018年10月22日(月)～23日(火)

場所 パシフィコ横浜国際会議場(神奈川県横浜市)

<http://www.env.go.jp/press/105046.html>

4. イベント情報(海外)

◎3rd Biomass Trade & Power Europe

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180203&>

月日 2018年2月20日(火)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.iscc-system.org/stakeholders/annual-iscc-global-sustainability-conference/>

◆LIGNOFUELS 2018 Advanced Biofuels & Materials Conference

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/lignocellulosic-fuel-conference-europe/>

◆2018 IrBEA National Conference - Bioenergy Future Ireland

月日 2018年2月21日(水)

場所 ダブリン(アイルランド)

<http://www.aebiom.org/events/irbea-national-conference/>

◆Biogaz Europe 2018

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 ナント(フランス)

http://en.biogaz-europe.com/Why-exhibit_527.html

◎World Sustainable Energy Days 2018 - European Pellet Conference 2018-

月日 2018年2月28日(水)～3月1日(木)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

◆Annual ISCC Global Sustainability Conference

© World Sustainable Energy Days 2018 — Young Energy Researchers Conference “Energy Efficiency & Biomass” —

月日 2018年2月28日(水)～3月1日(木)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/programme/young-energy-researchers.html>

©World Sustainable Energy Days 2018

月日 2018年2月28日(水)～3月2日(金)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◆ECO-BIO 2018

月日 2018年3月4日(日)～7日(水)

場所 ダブリン(アイルランド)

<https://www.elsevier.com/events/conferences/eco-bio>

◆VI Forum of Biomass and Waste

月日 2018年3月9日(金)～10日(土)

場所 クラクフ(ポーランド)

<http://cbepolska.pl/pl/vi-forum-of-biomass-a-waste.html>

©BOIS ENERGIE 2018

月日 2018年3月15日(木)～18日(日)

場所 グルノーブル(フランス)

<http://www.boisenergie.com/>

◆WORLD BIO MARKETS

月日 2018年3月20日(火)～22日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<https://www.biobasedworldnews.com/events/world-bio-market>

[s](#)

©VICTAM ASIA 2018

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 バンコク(タイ)

<https://victamasias.com/>

◆Energy Efficiency and Renewable Energy 14th South-East European Exhibition

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/ee-re-exhibition>

◆9th Waste Management & Recycling South-East European Exhibition

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/waste-management-recycling-exhibition>

◆GASIFICATION 2018

月日 2018年3月28日(水)～29日(木)

場所 フランクフルト(ドイツ)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

◆the fifth Wood Bioenergy Conference & Expo

月日 2018年4月11日(水)～12日(木)

場所 ジョージア州アトランタ(USA)

<http://www.bioenergyshow.com/>

◆BBS 2018 The 6th China International Bioenergy and Biomass Utilization Summit

月日 2018年4月12日(木)～13日(金)

場所 上海(中国)

<http://www.bbs-summit.com/en/>

©11th Annual International Biomass Conference & Expo

月日 2018年4月16日(月)～18日(水)

場所 ジョージア州アトランタ(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆BIOGAS ASIA PASIFIC FORUM 2018

月日 2018年4月16日(月)～19日(木)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<http://www.icesn.com/>

©Argus Biomass 2018

月日 2018年4月17日(火)～19日(木)

場所 ロンドン(UK)

<http://www.argusmedia.com/events/argus-events/europe/argus-euro-biomass/home/>

◆RENEXP0® WATER & ENERGY Western Balkans

月日 2018年4月25日(水)～26日(木)

場所 ベオグラード(セルビア)

<http://www.renxpo-belgrade.com/index.php?id=7&L=1>

◆5th Africa Oil Palm & Rubber Summit

月日 2018年4月25日(水)～26日(木)

場所 アクラ(ガーナ共和国)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180407&>

◆8th European Algae Industry Summit

月日 2018年4月25日(水)～26日(木)

場所 ウィーン(オーストリア)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

◆All-Energy Exhibition and Conference 2018

月日 2018年5月2日(水)～3日(木)

場所 グラスゴー(イギリス)

www.all-energy.co.uk

◆ICCI 2018 : 24th International Energy & Environment Fair & Conference

月日 2018年5月2日(水)～4日(金)

場所 イスタンブール(トルコ)

<http://www.icci.com.tr/en>

◆5th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2018

月日 2018年5月3日(木)～4日(金)

場所 トゥールーズ(フランス)

<http://regatec.org/>

◆RoEnergy South-East Europe

月日 2018年5月9日(水)～11日(金)

場所 ブカレスト(ルーマニア)

<http://bucuresti.roenergy.eu/>

◎EUBCE 2018 26th European Biomass Conference & Exhibition

月日 2018年5月14日(月)～18日(金)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<http://www.eubce.com/home.html>

◎Argus Biomass Asia 2018

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)

場所 シンガポール(シンガポール)

<http://www.argusmedia.com/asia-biomass/>

◆International Fuel Ethanol Workshop& Expo

月日 2018年6月11日(月)～13日(水)

場所 ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆POWER-GEN AFRICA

月日 2018年7月17日(火)～19日(木)

場所 ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

<http://www.powergenafrika.com/index.html>

◆The 7th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE 2018)

月日 2018年8月16日～18日

場所 広州市(中国)

<http://www.apbechina.com/index.php?lang=en>

◆ASIA POWER WEEK

月日 2018年9月18日(火)～20日(木)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<http://www.asiapowerweek.com/en/index.html>

◎USIPA' s EXPORTING PELLETS CONFERENCE

月日 2018年10月8日(月)～10日(水)

場所 イリノイ州シカゴ(USA)

<http://www.usipaconference.com/conference/announcement>

◆The 10th PALMEX Indonesia 2018

月日 2018年10月9日(火)～11日(木)

場所 メダン(インドネシア)

<http://www.palmoilexpo.com/>

◆IBBK Biogas : Science Meets Practice, international conference with trade exhibition and excursion 'Progress in the treatment and use of manure and digestate

月日 2018年10月16日(火)～17日(水)

場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/schedule>

◆International Power Industry, Energy Efficiency, Infrastructure and Environmental Technology Fair

月日 2018年10月19日～21日

場所 リガ、キプサラ地区（ラトビア共和国）

<http://www.bt1.lv/ee/eng/>

◆European Biomass to Power

月日 2018年11月7日（水）～8日（木）

場所 ストックホルム（スウェーデン）

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆HEATEC Shanghai International Exhibition on Heating

月日 2018年11月28日（水）～30日（金）

場所 上海（中国）

<https://www.heatecchina.com/Heatec17/Home/lang-eng/Information.aspx>

◆ALGAEUROPE 2018

月日 2018年12月4日（火）～6日（木）

場所 アムステルダム（オランダ）

<http://algaeurope.org/>

5. ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【山形県】

◆山形県「再生可能エネルギー設備導入事業費補助金（平成29

年度）」

http://www.pref.yamagata.jp/sangyo/rodo/kinrosha/6050016saiseikanou_hojo_h29.html

※募集期間：平成30年2月28日まで

6. 公募等情報（締切順）

◇環境省「平成30年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の公募について」

募集期間 2018年1月11日（木）～2月9日（金）

<http://www.env.go.jp/press/105001.html>

営体制構築支援事業）に係る補助事業者（執行団体）の募集について」

募集期間 2018年1月9日（火）～2月13日（火）

<http://www.env.go.jp/guide/kobo.html>

◇環境省「2017年度冬版L2-Tech水準表の公表及びL2-Tech製品情報の募集開始について」

募集期間 2018年1月15日（月）～2月9日（金）

<http://www.env.go.jp/press/105005.html>

◇経産省資源エネ庁「平成29年度補正予算『省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業』に係る補助事業者（執行団体）の公募について」

公募期間 2018年1月24日（水）～2月13日（火）

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1801/180124a/

◇環境省「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金に係る補助事業者（執行団体）の募集について」

募集期間 2017年12月26日（火）～2018年2月13日（火）

<http://www.env.go.jp/guide/kobo.html>

◇環境省「平成30年度低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による家庭等の自発的対策推進事業の公募について」

募集期間 2018年1月25日（木）～2月15日（木）

◇環境省「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（中小事業者による排出量算定・排出量削減のための環境経

<http://www.env.go.jp/guide/kobo.html>

◇高知県立林業大学校専攻課程「木造設計コース」研修生の募集 2018 年 4 月開講)

一般後期試験申請期間 2018 年 1 月 22 日(月)~2 月 16 日(金)

一般後期選考日 2018 年 2 月 24 日(土)

<https://kochi-forestry.ac.jp/news/%e5%b0%82%e6%94%bb%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%80%8c%e6%9c%a8%e9%80%a0%e8%a8%ad%e8%a8%88%e3%82%b3%e3%83%bc%e3%82%b9%e3%80%8d%e3%81%ae%e7%b4%b9%e4%bb%8b/>

◇経産省資源エネ庁「平成 30 年度『地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金(分散型エネルギーシステム構築支援事業)』に係る補助事業者(執行団体)の公募について」

公募期間 2018 年 1 月 29 日(月)~2 月 19 日(月)

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1801/180129a/

◇経産省資源エネ庁「平成 30 年度『地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金(再生可能エネルギー熱事業者支援事業)』に係る補助事業者(執行団体)の公募について」

公募期間 2018 年 1 月 26 日(金)~2 月 21 日(水)

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1801/180126a/

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2017 年 4 月 1 日(土)~2018 年 2 月 28 日(水)

<http://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇宮崎県「平成 30 年度『みやざき林業青年アカデミー』研修生の募集について」

2 次募集締切 2018 年 3 月 2 日(金)

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/shinrin-keiei/shigoto/ringyo/20170917125530.html>

◇長野県諏訪市「平成 29 年度再生可能エネルギー等導入設置補助金」

申請受付 2017 年 4 月 3 日(月)~2018 年 3 月

<http://www.city.suwa.lg.jp/www/service/detail.jsp?id=8470>

※2018 年 3 月 9 日(金)までに実績報告書提出要

◇森の映像祭実行委員会「森の映像祭(みどり・森林・山村振興 映像祭)」作品募集

募集期間 2018 年 3 月 7 日(水)~5 月 7 日(月)

<http://morinoeizo.com/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015 年 10 月 1 日(木)~随時受付

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014 年度~2023 年度までの 10 年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/cat8849/

◇新潟県柏崎市「柏崎市 EC02 プロジェクト」

<http://www.city.kashiwazaki.lg.jp/ondan/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syoune-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金」

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010112200159/files/H29yuushi.pdf>

※融資制度

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税が施行されました」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/green_site/green/index.html

※「木質バイオマス発電設備(2 万 kW 未満)」と「木質バイオマス熱供給設備(160GJ/h 未満)」が税制優遇を受けられるようになりました。